

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第5学年 「算数（大日本図書）」

123時間（70%）

週	指導事項	単元名	小単元名	時間数	留意点	
1	A (2) ア (7) イ (7)	1. 整数と小数	①整数と小数	2		
			たしかめ問題、単元のまとめ等	1		
3時間						
2	B (1) ア (7) イ (7)	2. 図形の角の大きさ	①三角形、四角形の角	2	<ul style="list-style-type: none"> ・①の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりしながら進めておく。 ・②の授業前に(P.281)を切り取り、四角形の内角の和が360°になる理由について考えておく。 	
			②多角形の角	1		<ul style="list-style-type: none"> ・「三角形、四角形の角」の復習を兼ねながら、多角形の内角の和を導く。
			③しきつめ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の前に(P.283)の図を切り取り、準備しておく。 	
			たしかめ問題、単元のまとめ等	1	<ul style="list-style-type: none"> ・①～③の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりしながら進めておく。 	
5時間						
3	C (1) ア (7) イ (7)	3. 2つの量の変わり方	①2つの量の変わり方	2		
			たしかめ問題、単元のまとめ等	1		
2時間						
4	A (3) ア (7) (4) イ (7)	4. 小数のかけ算	①整数×小数	4	<ul style="list-style-type: none"> ・数直線や言葉の式などを用いて考える活動を入れる。 	
			②小数×小数	2		
			練習	1		
			③積の大きさ	1		
			④面積の公式と小数	1		
			⑤計算のきまり	1		
たしかめ問題、単元のまとめ等	1	<ul style="list-style-type: none"> ・①～⑤の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりしながら進めておく。 				
11時間						
5	B (4) ア (7) (4) イ (7)	5. 体積	①直方体と立方体の体積	4	<ul style="list-style-type: none"> ・複合図形の体積は、複合図形の面積の求め方を想起させ、求め方を考えてから授業に臨む。 ・長さや面積、体積の単位間の関係を扱う。 ※【参考】オンラインサポート授業 	
			②いろいろな体積	4		
			たしかめ問題、単元のまとめ等	1		<ul style="list-style-type: none"> ・①～②の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりしながら進めておく。
9時間						
7	A (3) ア (7) (4) イ (7)	6. 小数のわり算	①整数÷小数	2	<ul style="list-style-type: none"> ・4. 小数のかけ算の①の学習を参考に、児童が解き方を見いだせるようにする。 ・問題練習は家庭学習も利用する。 	
			②小数÷小数	3		
			練習	1		<ul style="list-style-type: none"> ・①②の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
			③商の大きさ	1		
			④わり進みの計算とあまりのあるわり算	3		
			⑤わり算の式	1		<ul style="list-style-type: none"> ・図や式、数直線を用いて考える活動を入れる。
⑥小数倍とかけ算、わり算	2	<ul style="list-style-type: none"> ・(P.81)と(P.82)は二重数直線を並べ、求める数量を比較しながら一時間で扱う。 				
たしかめ問題、単元のまとめ等	1	<ul style="list-style-type: none"> ・③～⑥の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりしながら進めておく。 				
13時間						
9	B (1) ア (7) イ (7)	7. 合同な図形	①合同な図形	2	<ul style="list-style-type: none"> ・合同な図形を写し、切り取る作業は家庭で行う。 	
			②合同な図形のかき方	2		
			たしかめ問題、単元のまとめ等	1		<ul style="list-style-type: none"> ・①～②の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりしながら進めておく。
5時間						
10	A (1) ア (7) (4) イ (7)	8. 整数の性質	①偶数、奇数	1	<ul style="list-style-type: none"> ・たしかめ問題は可能な限り①～③の学習と並行して扱い、単元の学習の様子は次単元まで継続して確認する。 	
			②倍数と公倍数	2		
			③約数と公約数	3		
			たしかめ問題、単元のまとめ等	1		
6時間						
11	A (4) ア (7) (4) イ (7) A (5) ア (7)	9. 分数のたし算とひき算	①分数の大きさ	4	<ul style="list-style-type: none"> ・最小公倍数の復習を兼ねながら、通分を扱う。 ・約分の復習を兼ねながら、約分できるときは約分することをおさえる。 ・①～②の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりしながら進めておく。 	
			②分数のたし算とひき算	3		
			たしかめ問題、単元のまとめ等	1		
8時間						
12	D (2) ア (7) イ (7)	10. 平均	①平均	3	<ul style="list-style-type: none"> ・電卓を利用して計算の時間を工夫する。 	

13	C (2) ア (7) イ (7)	11. 単位量あたりの大きさ	②歩幅の求め方	1	
			たしかめ問題、単元のまとめ等	1	・①～②の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりしながら進めておく。
			①単位量あたりの大きさ	2	・2量の割合に注目させて比較させることにより、単位量あたりの大きさの意味を導く。
			②単位量あたりの大きさを使って比べよう	2	・問題練習は家庭学習も利用する。
5時間			たしかめ問題、単元のまとめ等	1	・①～②の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりしながら進めておく。
14	A (4) ア (7) (イ) イ (4)	12. 分数と小数、整数	①わり算と分数	1	・(P.146)さくらの考えを読むことで、商が分数になる意味を扱う。
			②分数倍	1	・(P.81)と関連付けて扱い、小数倍の学び直しの機会にする。
			③分数と小数、整数	3	
			たしかめ問題、単元のまとめ等	1	・①～③の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりしながら進めておく。
6時間			たしかめ問題、単元のまとめ等	1	・①～③の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりしながら進めておく。
15	C (3) ア (7) (イ) イ (7)	13. 割合	①割合と百分率	4	・倍の意味を基にして、割合の意味を考えさせる。
			②割合の使い方	4	・百分率を適用した問題を扱う中で、比較量、基準量、割合の関係をまとめる。
			③歩合		
			たしかめ問題、単元のまとめ等	1	・①～③の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりしながら進めておく。
9時間			たしかめ問題、単元のまとめ等	1	・①～③の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりしながら進めておく。
17	D (1) ア (7) (イ) イ (7)	14. 帯グラフと円グラフ	①帯グラフと円グラフ	3	・百分率の復習を兼ねながら、帯グラフ、円グラフを書く。
			②グラフの選び方	3	・(P.182、183)を参考に、本単元の学習を用いて身近な問題について考える活動を行う。
			たしかめよう、単元のまとめ等		・①～②の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりしながら進めておく。
			①正多角形	4	・円と関連させて正多角形の性質の理解を深める。 ・(P.250)「プログラミングにちょうせん！」と関連させて扱う。
18	B (1) ア (7) (イ) イ (7)	15. 正多角形と円	②円周と直径	4	・(P.192)の表は家庭学習で作成し、授業で結果を考察して(P.193)の内容につなげる。
			たしかめ問題、単元のまとめ等		・①～②の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりしながら進めておく。
			①平行四辺形の面積	3	・平行四辺形の性質に着目させながら、面積を求める公式まで導く。
			②三角形の面積	3	・平行四辺形の面積の求め方と関連付けることで活動の時間を工夫する。
19	B (3) ア (7) イ (7) A (6) ア (7) イ (7) C (1) ア (7) イ (7)	16. 四角形と三角形の面積	③いろいろな四角形の面積	2	・平行四辺形、三角形の面積の求め方を活用して台形、ひし形の面積を求める。
			④面積の求め方のくふう	1	
			たしかめ問題、単元のまとめ等	1	・①～④の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりしながら進めておく。
			①速さ	4	・道のり、速さ、時間を求めることは二重数直線を用い、関連付けて扱う。
6時間			たしかめ問題、単元のまとめ等	1	・①の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりしながら進めておく。
21	B (2) ア (7) イ (7)	18. 角柱と円柱	①立体	3	・角柱と円柱に仲間分けする活動を取り入れながら、角柱と円柱の特徴や性質をまとめる。
			②見取図と展開図	2	・角柱、円柱の展開図を切り取る活動は家庭学習を利用し、授業では対応する頂点や辺について学習する活動を扱う。
			たしかめ問題、単元のまとめ等	1	・①～③の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりしながら進めておく。

※時間数の精選方法（例）

○授業中は学習の動機付けや考えを全体で交流して学びを深める活動に重点をおく。

- ・問題練習や模型の作成等、授業中十分時間をとることのできない内容や活動などは家庭学習を利用します。

○指導内容に基づき、授業中に扱う考えや活動を精選する。

○見方・考え方や学習のまとめ、つながりを大切に単元計画を構想する。

- ・数学的な見方・考え方を働かせながら学習できるように、教科書の登場人物の会話や考えなどを参考にしながら授業を計画します。
- ・単元末には学習した内容を使って問題を解決し、単元全体の学習を振り返ります。

○似た考え方や活動に気付かせ、活動の見通しをもてるようにする。

- ・例えば、平行四辺形の面積の公式を求める一連の活動が、三角形の面積を求めるまでの考え方に生かせることに気付かせ、児童主体で学習を進められるようにします。